

【身の回りの税金】

私がいつも学校に行くために通っているトンネルは、税が使われて造られています。私が通学の際に通っているトンネルの長さは約三百三十二メートルです。このトンネルがなかったら昔の道を約二・八キロメートルも歩かないと学校に行けません。でも、このトンネルを造るために、どのくらいの税金が使われているか知っていますか。私は、一キロメートルのトンネルを造るために使われる税金は、約三億円くらいだと思っています。億円だということが分かりました。普段なにげなく使用しているトンネルが、それほど多くの税金が使われ造られたり、維持されていると考えると、とてもありがたいがたく私たちが暮らしやすい生活ができてるのは税金をこのような行政サービスとして使ってくれているからだと思います。また、どのくらいの税金が私たちの生活に使用されているのか考えてみました。まず、トンネルで考えてみると私の暮らしている川根本町には道通りだけで約十本のトンネルがあります。そして、大井川に架かっている橋だけでも十本以上はあります。その他にも教育に使われる税もあります。調べてみると川根本町は約四十億円もの税金が私たちが暮らしやすい生活をするために使用されていることが分かりました。きつとこのよう

な行政サービスがないと、山が多い川根本町では暮らしにくい生活になると思います。例えば私が祖母の家に行くときは橋を五本、トンネルを八本くらい通らなければいけません。また、買い物に行くときは島田方面か静岡に行く国道三六二号を通っていきます。行く時に道路が綺麗だったり、少しでも通りやすい道でなければとても行きにくいですし、生活が不便になってしまいます。また、川根本町に観光に来る観光客の方は今よりもっと少なくなってしまうと思います。だからより私たちの生活はとても税金で助かっていると思います。今の日本は国の借金がどんどん増えていっています。だから、行政サービスを減らすという考えもあると思います。でも、私たちのように税金でのサービスがあることで生活がしやすい人も多いと思います。このようなことを踏まえて私は税金に対して好感を持ちました。だから、私はこれから税金についてのニュースをよく見たり、知識を増やして、何年後かに払う税金について考えていきたいです。